

農業の土壌中における半減期の例

この表は、殺虫剤、殺菌剤、除草剤の順番で記載し、それぞれグループごとにとまとめて記載した。各薬剤の順番は、おおむね、SHIBUYA INDEX (1996)記載の順番に従った。なお、参考のため、すでに農業の登録から抹消された化合物も一部記載した。

データは主に総説などから収録したもので、土壌条件、試験条件などの詳細が必要なときは、ここに示した文献中に引用されている原著論文を参照されたい。

半減期のデータにおいて、「5, 8日」などとあるのは同一文献のもので、「5日, 8日」などとあるのは別個の文献から引用したものである。

農薬名 (*は現在登録抹消)	土壌条件	半減期	文献
殺虫剤			
γ-BHC *	畑地, 圃場	1173, 1225 日	31
	畑地, 室内	10 か月, >> 30 日 568±442 日	1, 2 31
DDT *	湛水, 室内	10~20 日	2
	畑地, 圃場	約1年 (埼玉県平均) 837±323 日 他	3 31
	畑地, 室内	1年, 2年, >> 45 日	1, 2, 31
ディルドリン*	湛水, 室内	7~45 日	2
	雑草, 室内	33, 7, 8 日	31
	畑地, 圃場	12 か月 (日本平均), 356 日	4, 31
アルドリン* ヘプタクロル*	畑地, 室内	10 か月	1
	湛水, 室内	>3 か月	2
	畑地, 室内	251±152 日	31
プロプロフェジン	畑地, 圃場	1684, 3243 日	31
	畑地, 室内	7 か月, 約3 か月	1, 2
DEP (トリクロルホン)	水田, 圃場	19~160 日, 38~127 日	33
	畑地, 圃場	71 日, 99 日	33
バミドチオン エチルチオメトン (ジスルホトン)	畑地, 室内	4, <1 日	29
	湛水, 室内		29
	畑地, 室内	2 日	29
	畑地, 室内	10 日, 1~4 日	1, 29
湛水, 室内		1, 29	

付表1 各種農薬の土壌中における半減期

マラソン (マラチオン)	畑地, 室内	1 日, 0.56±0.41 日	1, 31
	畑地, 室内	<1 日	29
BRP (ナレド)	湛水, 室内	<1 日	29
	畑地, 室内	6~>60 日	29
EPN	湛水, 室内	4~5 日	29
	畑地, 室内	1 日, 32 日他	1, 31
バラチオン*	畑地, 圃場	4.4 日	31
	畑地, 室内	12~28 日, 8~30 日	6, 29
メチルバラチオン	湛水, 室内	<10 日, 4~6 日	6, 29
	室内	4~20 日	33
	圃場	1~2 週	33
ジメトエート	畑地, 室内	7~15 日, 10~23 日	7, 29
	湛水, 室内	10~20 日	29
イソキサチオン	畑地, 圃場	18~20 日	8
	畑地, 室内	2~5 日	29
メカルバム*	湛水, 室内	2~15 日	29
	畑地, 室内	4 日, 20~30 日	29
CYAP (シアノホス)	湛水, 室内	3~14 日, 10 日	29
	畑地, 室内	2~10 日, 30~40 日	29
CYP (シアノフェンホス)*	湛水, 室内	<1~7 日, 18~50 日	29
	畑地, 室内	2~4 日	29
MPP (フェンチオン)	湛水, 室内	16~21 日	29
	畑地, 室内	3~5 日	29
CVMP (テトラクロルビンホス)	湛水, 室内	3 日	29
	畑地, 室内	25 日, 11~12 日 他	1, 33
ダイアジノン	湛水, 室内	約10 日, 6~7 日	5, 29
	畑地, 圃場	4~5 日	33
サリチオン (ジオキサベンゾホス)	湛水, 圃場	3~8 日, 9 日	33
	畑地, 室内	7~9 日	29
カルタップ	湛水, 室内	7 日	29
	畑地, 室内	<1 日, 1~4 日	29, 33
MPMC (キシリルカルブ)	湛水, 室内	<1 日, 1~4 日	29, 33
	畑地, 室内	1~7 日, 23~50 日	29
BPMC (フェノカルブ)	湛水, 室内	8~10 日, 23~40 日	29
	畑地, 室内	20~40 日, 6~14, 5 日	13, 33
PHC (プロボクスル)	湛水, 室内	約50 日, 6~30, 12~33	11, 33
	畑地, 圃場	4~20 日	33
NAC (カルバリル)	湛水, 圃場	5~40 日	33
	湛水, 室内	>50 日	11
NAC (カルバリル)	畑地, 圃場	8 日	10
	湛水, 室内	12 日	11

※ 下線の農薬は、圃場における土壌半減期が室内における土壌半減期より長いデータを示しているもの

ベンフラカルブ	畑地, 室内	7~28時間	33
	湛水, 室内	約5時間	33
	畑地, 圃場	粒剤施用 3~14日	33
フェンバレレート	畑地, 室内	15~90日	33
エトフェンブロックス	畑地, 圃場	<20日	33
	畑地, 室内	1~2週	33
	畑地, 圃場	約2週	33
	湛水, 室内	数か月	33
	水田, 圃場	約2月	33
ヘキシチアゾクス	畑地, 室内	10~11日	33
	畑地, 圃場	6~9日	33
クオルフェナミジン (クオルジメホルム)	畑地, 室内	25日, 60日	29
殺菌剤			
IBP (イプロベンホス)	畑地, 室内	7~10日	12
	湛水, 室内	16日	12
EDDP (エジフェンホス)	畑地, 室内	2~6日	12
	湛水, 室内	<1日	12
チウラム (TMTD)	畑地, 室内	<1日	29
ETM *	畑地, 室内	3日, 15~19日	29
	湛水, 室内	3~8日	29
ジネブ	畑地, 室内	10日, 42日	29
	畑地, 圃場	10~29日	29
マンネブ	畑地, 室内	1~7日, 60日	29
	畑地, 圃場	10日, 18~50日	29
チオファネートメチル	畑地, 室内	4, 18日, 7~14日	29, 33
	畑地, 圃場	10, 30日, 14~21日	29, 33
臭化メチル D-D	畑地, 圃場	<1日	33
	畑地, 室内	<1日	33
メプロニル	畑地, 室内	9~16日	33
	湛水, 室内	50~60日, 277日	33
	畑地, 圃場	14~42日	33
フルトラニル	水田, 圃場	20~30日	33
	畑地, 室内	<12週	13
PCNB (キントゼン)	畑地, 室内	3~5日, 5~15日	33
	畑地, 圃場	30日	33
クロロネブ	湛水, 室内	1日	33

ヒドロキシイソキサゾール	畑地, 室内	13~29日, 4~200日	29
	畑地, 圃場	<3日, 25日	29
	水田, 圃場	10~20日	33
エクロメゾール	育苗箱	2~25日	33
	畑地, 室内	15日	29
トリアジメホン	畑地, 室内	4~7日, 180日	33
	畑地, 圃場	20~60日	33
イソプロチオラン	畑地, 圃場	176~264日	33
	水田, 圃場	27~80日	33
プロベナゾール	畑地, 室内	6日, 24日	33
	湛水, 室内	>24時間	33
フサライド	畑地, 室内	40日	14
	湛水, 室内	28~32日	14
	湛水, 圃場	<30日	14
キャプタン	畑地, 室内	<1日, 4~5日	15, 29
	畑地, 圃場	5日	29
ダイホルタン*	畑地, 室内	<1日	16
ミルディオマイシン	畑地, 室内	<2時間	33
	湛水, 室内	<2時間	33
除草剤			
2,4-D	畑地, 圃場	10±17日	31
	畑地, 室内	17±8日, 10~35日	31, 18
	湛水, 室内	30~40日	18
MCP (MCPA)	畑地, 圃場	<10日	31
	畑地, 室内	24日	1, 30
MCP-エチル 2,4,5-T *	湛水, 室内	1~2日	30
	畑地, 室内	7~14日	30
MCPP (メコプロップ)	畑地	(残効 90~120日)	23
	芝地, 水田	(残効 20~30日)	23
フェノチオール MCPCA *	湛水, 室内	<2日 (水田中残効35日)	24, 23
	水田	(残効 25~30日)	23
MCPB	畑地, 室内	1~3日	30
	水田	2~7日 (生成NOPが長期残留)	34
キザロホップエチル シハロホップアチル	畑地, 圃場	7~15日	36
		短期間	43
DPA (グラボン)	畑地, 室内	2.5~>100日	31
		14.6±5.9日 他	31
テトラピオン	畑地	(残効 20~40日)	23
	林地	(残効 2~3か月)	23
MDBA (ジカンバ)	畑地・芝地	>4週	23

TCTP (クロルタルジメチル)	畑地・芝地	(残効 3か月)	23
PCP	湛水, 圃場	10~17日	19
	湛水, 室内	12~70日 (平均30日)	20
	畑地, 室内	18~120日 (平均50日)	20
DBN (ジクロベニル)	水田	6か月 (残効 25~30日)	23
	畑地	(残効 15~20日)	23
DCBN (クロルチアミド)	水田	(残効 25日)	23
	畑地		
アイオキシニル	畑地	(残効 短)	23
プロモキシニル	畑地	<2週間 (残効 短)	23
プロビザミド	芝地		
プロモアチド	水田		
ACN (キノクラミン)	水田, 圃場	8~9日	34
	湛水, 室内	8~10日	34
セトキシジム	畑地, 圃場	<1日	33, 35
	畑地, 室内	<1日	33, 35
DCMU (ディウロン)	畑地, 室内	70, 26~31日	1
		212±87日	31
	畑地	(残効 長)	24, 23
リニユロン	畑地, 圃場	±8日, 169±29日	31
	畑地, 室内	40日**、35~55日	1, 30
	畑地	(残効 3~4か月)	23
メチルグイムロン	畑地, 芝地	(残効 25~35日)	23
ダイムロン	畑地, 室内	49日	30
	畑地, 芝地	(残効 30~40日)	23
チオクロルメチル	水田, 湛水	30~40日	25
テブチウロン	非農耕地	残効 長	34
シデュロン	畑地条件	約20日 (砂壤土), 約90日 (埴壤土)	39
イソウロン	畑地, 圃場	30~40日	
アミドスルフロ	畑地, 室内	36±6日	41
リムスルフロ	畑地, 圃場	5.7日	41
	畑地, 室内	24.5日	41
ベンスルフロ	水田, 圃場	7~60日	33
メチル	湛水, 室内	8~45日	33
シノスルフロ	水田, 圃場	<7日	40
ニコスルフロ	畑地, 室内	7~20日	40
	湛水, 室内	7~20日	40
イマゾスルフロ	湛水, 室内	2か月 (好氣的), 3日 (嫌氣的)	39
フラザスルフロ	畑地, 室内	13~16日	35
	湛水, 室内		35

ピラゾスルフロ	湛水, 室内	<15日	37
エチル	畑地, 圃場	約2日	38
チフェンスルフロ	畑地, 室内	約2日	38
メチル	畑地, 室内	約2週	39
ハロスルフロ	畑地, 圃場	7~30日	39
メチル	畑地, 室内	7~30日	39
トリフルラリン	畑地, 圃場	23~29日	33
	畑地, 室内	23~29日	33
	水田, 圃場	10~11日	33
	湛水, 室内	10~11日	33
ベスロジン (芝地用)	畑地, 圃場	<20日	35
(ベンフルラリン)	畑地, 室内	20日	35
ベンディメタリン	畑地, 圃場	110日	39
	畑地, 室内	90~119日	39
	水田, 圃場	3~7日	39
	湛水, 室内	3日	39
	芝地圃場	約10日	40
エースフェノン			
CNP	水田, 圃場	約14日, 6~19日	19, 21
(クロルニトロフェン)	湛水, 室内	7~35日 (平均15日)	20
		6~7日, 1~2日	26
	畑地, 室内	>50日	20
	水田	(残効 25~30日)	23
クロメトキシニル	湛水, 室内	7~35日 (平均15日)	20
	畑地, 室内	>50日	20
	水田	(残効 40~45日)	23
NIP	湛水, 室内	3~25日 (平均11日), 4日	20, 23
(ニトロフェン)	畑地, 室内	>50日	20
	水田	(残効 25~30日)	23
ピフェノックス	湛水, 室内	約4日	27, 36
	畑地, 室内	約6日	27, 36
	水田	(残効 25~30日)	23
アラクロール	畑地, 室内	50~72日, 5~13, 38日	30, 38
	畑地, 室内	11~35日	42
	畑地, 圃場	15~83日, 20~60日	42
ブタクロール	畑地, 室内	11日	30
	水田, 圃場	10~15日	33
	湛水, 室内	8, 25~30日, 2~5週	30, 33
プレチラクロール	水田, 圃場	2~20日	37
	湛水, 室内	6~10日	37
メトラクロール	畑地, 圃場	13~20日	37
	畑地, 室内	10~20日	37

DCPA (プロバニル)	畑地, 室内	<1 日	20, 30
	湛水, 室内	<1 日, 数日	20, 34
CMMP (ペンタノクロール) * ナプロアニリド イナベンフィド メフェナセット	畑地, 室内	7~15 日 (フェノキシ系に記載)	30
	水田, 圃場	44 日, 62 日	33
	水田, 圃場	7, 16 日	36
MCC (スエップ)	畑地, 室内	18 日	31
	湛水, 圃場	<10 日	19
フェンメディファム	湛水, 室内	2~9 日 (平均 7 日)	20
	水田	(残効 20~25 日)	23
CBN (パーバン) * IPC (CIPC) (クロルプロファム) アシュラム	畑地, 圃場	25 日	23
	畑地, 室内	33~35 日	30
	畑地	短 (残効 短)	23
	畑地, 室内	43 日	31
	畑地	(残効 40~50 日, 夏 4~5 日)	23
	畑地, 室内	40~90 日	30
	畑地, 室内	約 7 日	23
MBPMC (デルブカルブ)	芝地, 林地	(残効 15~20 日)	23
	芝地圃場	45~90 日	40
ベンチオカーブ (チオベンカルブ)	湛水, 圃場	約 2 週	22
	湛水, 室内	7~100 日 (平均 40 日)	20, 39
オルソベンカーブ (オルベンカルブ) モリネート	畑地, 室内	8~80 日 (平均 26 日)	20, 33
	芝地圃場	9, 12 日	40
	畑地, 室内	44, 48, 58 日	40
	畑地, 室内	8~22 日	28
	湛水, 室内	40 日~50 日以上	28
	畑地, 水田	(残効 20~25 日)	23, 36
ピリプチカルブ	水田, 圃場	10~20 日	36
	畑地, 圃場	20~30 日	36
EPTC * バーノレート * エスプロカルブ	畑地	(残効 30 日)	23
	畑地	(残効 1 か月)	23
	水田	水田よりも畑地で分解が速い	36
CAT (シマジン)	畑地, 圃場	47 日, 130±46 日 30~60 日, 10 週	31 40, 33
	畑地, 室内	3.5 か月 ** , 130±46 日	1, 30
アトラジン	畑地, 圃場	30~60 日, 18, 25 日他	40, 31
	畑地, 室内	130±40 日, 96, 107 日	31
テルブチラジン ジメタメトリン アメトリン	畑地, 室内	5~15, 2~33 日	41
	水田, 圃場	17~30 日	40
	畑地, 室内	28~30 日	30
	湛水, 室内	90~130 日	30

プロメトリン	畑地, 室内	45~135 日	30
	湛水, 室内	100~110 日	30
ビラゾレート	水田	速やかに分解	37
	湛水, 室内	約 10 日	33
ビラゾキシフェン	水田, 圃場	10~20 日	35
	湛水, 室内	4~14 日	35
ベンゾフェナップ	畑地, 室内	20~150 日	35
	湛水, 室内	7~14 日	35
イマザビル ATA (アミトロール) * オキサジアゾン	畑地, 圃場	20~45 日 (4 箇所)	39
	畑地, 室内	6~27 日, 4~12 日	31, 30
	畑地, 室内	75 日, 92~103 日	32, 30
	湛水, 室内	75 日, 93~98 日	32, 30
バラコート	畑地, 室内	>150 日	30
	湛水, 室内	>150 日	30
ジクワット	畑地, 室内	>150 日	30
	畑地, 室内	>150 日	30
フルアジホップ (フルアジホップ アチル)	非農耕地	加水分解 2 日で 97% 以上, フル アジホップ酸の半減期 2~12 週	39
PAC (クロリダゾン)	畑地, 室内	40~61 日, 100~110 日	30, 37
プロマシル	畑地, 室内	25 日, >9 週間	30, 39
ターバシル	畑地, 室内	84~90 日	30
レナシル	畑地, 室内	65~70 日	30
グリホサート	畑地, 圃場	16~17 日	33
	畑地, 室内	8~16 日	33
	水田, 圃場	16~17 日	33
	湛水, 室内	6~8 日	33
ピペロホス	水田, 圃場	20~30 日	40
クロルフラリム	畑地, 圃場	約 20~30 日	39
	畑地, 室内	約 20~30 日	39
ペンタゾン	畑地, 室内	30~50 日	30
	畑地, 圃場	<15 日	35
	水田, 圃場	<15 日	35
ダゾメット	畑地, 圃場	<10 日	35
	畑地, 室内	<16 時間	35

引用文献

- 1) P. C. Kearney, E. A. Woolson, J. R. Plimmer & A. R. Insense: Residue Rev., 29, 137 (1969)
- 2) 吉田富男: 近代農業における土壌肥料の研究, 第 3 集, 日本土壌肥料学会編, p. 103, 養賢堂 (1972)

- 3) 中村幸二：名古屋大学学位論文 (1990)
- 4) 環境庁土壤農薬部編：農薬汚染，白亜書房 (1973)
- 5) 1968 Ann. Report, The International Rice Research Institute, p.146 (1968)
- 6) Y. Takimoto, M. Hirota, H. Inui & J. Miyamoto: J. Pesticide Sci., 1, 131 (1976)
- 7) 宇田川隆敏，宮田 正，齊藤哲夫：農薬科学，1, 159 (1974)
- 8) 上田隆之，大塚猛夫，石田ます子，中村利家：農薬科学：3 (2), 84 (1975)
- 9) M. Nakagawa, M. Ando, & Y. Obata: Agric. Biol. Chem., 39, 1763 (1975)
- 10) D. P. Jonson & H. A. Staunbury: J. Agric. Food Chem., 13, 235 (1965)
- 11) 五十嵐美千代，川原哲城，中村広明：農薬検査所報告15号，41 (1975)，同48 (1975)
- 12) 富沢長次郎，上杉康彦，山本久彰，杉山弘威，上山功夫：農薬生産技術，No. 22 補，37 (1970)
- 13) 五十嵐丕，内山正昭，佐藤六郎：農薬科学，3, 132 (1976)
- 14) 横山英司，徳田卓郎，西木満彦，星 元，篠田喜一，石田正臣，見里朝正：日本農薬学会第2回大会，p.146 (1976)
- 15) 小林明晴，塚野 豊：同上 p.147 (1976)
- 16) 山岡 剛，齊戸 猛，辻野泰宏，中村利家：農薬科学，3 (2), 82 (1975)
- 17) J. W. Hamaker: "Pesticides in Soil and Water", Soil Sci. Soc. Amer. Inc. Publisher, Madison, Wisconsin, p.253 (1974)
- 18) T. Yoshida & T. F. Castro: Soil Sci. Plant Nutr., 21, 397 (1975)
- 19) 山田忠男，中村 拓：日本雑草防除研究会第12回講演要旨，p.111 (1973)
- 20) 欽塚昭三：植物防疫，27, 407 (1973)
- 21) 遠山輝彦，玉川重雄：農薬科学，3, 178 (1976)
- 22) 石川莞爾，浅野 諒，赤崎克之：雑草研究，21, 16 (1976)
- 23) 竹松哲夫：除草剤研究総覧，pp.721，博友社 (1982)
- 24) 大山廣志，欽塚昭三，田村稔太郎：雑草研究，22，別号，37 (1977)
- 25) J. Takase, T. Nakahara, and K. Ishizuka: J. Pesticide Sci. 3, 9 (1978)
- 26) H. Shimotori and S. Kuwatsuka: J. Pesticide Sci. 3, 267 (1978)
- 27) H. Ohyama and S. Kuwatsuka: J. Pesticide Sci. 3, 401 (1978)
- 28) Y. Imai and S. Kuwatsuka: J. Pesticide Sci. 7, 487 (1982)
- 29) 環境庁土壤農薬課・残留農薬研究所：農薬登録保留基準設定調査II (1974)，IV (1975)
- 30) 能勢和夫：植調，9 (1), 2 (1975) : 12 (4), 2 (1978)
- 31) J. W. Hamerker: "Organic Chemicals in the Soil Envronmet" ed. by C. A. I. Goring and J. W. Hamarker, Marcel Dekker, Inc., New York p.253, p.341 (1972)

- 32) 平田博明，高野 順，小野騏一，石塚皓造：日本農薬学会第1回大会講演要旨集，p.117 (1976)
- 33) 「土と農薬」(本書) IV. 農薬各論 (参考文献記載)
- 34) 雑草研究，39 卷，1 号 (1994) 除草剤解説
- 35) 雑草研究，38 卷，2 号 (1993) 除草剤解説
- 36) 雑草研究，38 卷，3 号 (1993) 除草剤解説
- 37) 雑草研究，38 卷，4 号 (1993) 除草剤解説
- 38) M. Negro et al: J. Agric. Food Chem. 40, 1071 (1992)
- 39) 雑草研究，39 卷，4 号 (1994) 除草剤解説
- 40) 雑草研究，40 卷，2 号 (1995) 除草剤解説
- 41) 金沢 純：植調，29, 298-300 (1995) (文献抄録)
- 42) 金沢 純：植調，27, 263 (1993) (文献抄録)
- 43) 雑草研究，40 卷，3 号 (1995) 除草剤解説

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes the need for transparency and accountability in financial reporting.

2. The second part of the document outlines the various methods and techniques used to collect and analyze data. It includes a detailed description of the experimental procedures and the statistical tools employed.

3. The third part of the document presents the results of the study, showing the trends and patterns observed in the data. It includes several tables and graphs to illustrate the findings.

4. The fourth part of the document discusses the implications of the results and provides recommendations for future research. It also addresses the limitations of the study and suggests ways to improve the methodology.

5. The fifth part of the document provides a comprehensive overview of the research findings, summarizing the key points and conclusions. It also includes a discussion of the broader context of the study and its contribution to the field.

6. The sixth part of the document contains the references and bibliography, listing the sources used in the research. It includes a list of books, articles, and other publications relevant to the study.

7. The seventh part of the document is the conclusion, which summarizes the main findings and provides a final statement on the significance of the research. It also includes a list of acknowledgments and a list of authors.

8. The eighth part of the document is the appendix, which contains additional information and data related to the study. It includes a list of figures and tables, as well as a list of abbreviations and a list of symbols.